

レジメンcode:	C91-09
適応がん種:	急性前骨髄球性白血病
レジメン名:	ATRA+IDR+Ara-C
期間:	最長60日間

備考

A群:WBC<3,000/ μ LかつAPL細胞[*1]<1,000/ μ Lのとき

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
ATRA	ベサノイド	45	mg/m ²	内服(毎食後)	d1~60(最長60日)

B群:3,000 \leq WBC<10,000/ μ LあるいはAPL細胞 \geq 1,000/ μ Lのとき

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
ATRA	ベサノイド	45	mg/m ²	内服(毎食後)	d1~60(最長60日)
IDR	イダマイシン	12	mg/m ²	点滴(全開)	d1~2
Ara-C	キロサイド	100	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~5

C群:WBC \geq 10,000/ μ Lのとき

略名	抗がん剤(採用薬品名)	投与量	単位	投与法	投与日
ATRA	ベサノイド	45	mg/m ²	内服(毎食後)	d1~60(最長60日)
IDR	イダマイシン	12	mg/m ²	点滴(全開)	d1~3
Ara-C	キロサイド	100	mg/m ²	点滴(24時間)	d1~7

★IDR 総投与量 120mg/m²以下

[*1]APL細胞 :芽球+前骨髄球

day1~60(ATRAは最長60日まで)

1) ベサノイド	45 mg/m ²
	内服 毎食後

B群、C群共通: day1

1) グラニセトロン	3mg	1 A	抗がん剤の投与1時間~1時間30分前に アプレピタント(イメト)125mg内服
デキサート	3.3mg	1 V	
デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	主管①	点滴	15 分
2) イダマイシン		12 mg/m ²	
注射用水	100ml	1 本	1Vあたり5mlの注射用水で溶解
生食	50ml	1 本	
	主管②	点滴	全開
3) キロサイド		100 mg/m ²	
ブドウ糖液5%	500ml	1 袋	
	主管③	点滴	24時間

〈所要時間 ー〉

次ページあり

day2、3

1) アプレピタント(イメド [®])	80 mg
	内服 朝食後

B群: day2

C群: day2、3

1) グラニセトロン	3mg	1 A	
デキサート	3.3mg	1 V	
デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管①	点滴	15 分

2) イダマイシン		12 mg/m ²	
注射用水	100ml	1 本	1Vあたり5mlの注射用水で溶解
生食	50ml	1 本	
	▶側管②	点滴	全開

3) 生食	50ml	1 本	
	▶側管③		フラッシュ

4) キロサイド		100 mg/m ²	
ブドウ糖液5%	500ml	1 袋	
	主管①	点滴	24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

B群: day3~5

C群: day4~7

1) デキサート	6.6mg	1 V	
生食	50ml	1 本	
	▶側管①	点滴	15 分

2) キロサイド		100 mg/m ²	
ブドウ糖液5%	500ml	1 袋	
	主管①	点滴	24時間 前日の主管に続いて

〈所要時間 ー〉

B群: day6

C群: day8

1) 生食	50ml	1 本	
			フラッシュ

〈所要時間 ー〉

次ページあり

*WBCおよびAPL細胞数により治療が層別化される(A群、B群、C群)。

*治療中にAPL細胞 $\geq 1,000/\mu\text{L}$ となった時、IDR+Ara-C追加投与の規定あり。

*APL分化症候群(differentiation syndrome)の発症に注意すること。早期発見と、疑い段階からの副腎皮質ステロイドの早期開始が推奨されている。

*催奇形性があるので妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないこと。

*他のビタミンA製剤とは併用禁忌である。